

女性の活躍推進に
取り組む事業所紹介

株式会社
板通いたつう



(株) 板通 女性会議主催の女性社員向け講演会

創業130年となる、旭町に本社のある(株)板通を取材しました。

同社では、県による「女性活躍推進コンサルティング事業」の支援を受け、昨年3月に女性活躍推進法に基づき一般事業主行動計画を策定しました。その目標は管理職に占める女性社員の割合を20%以上にする事、また女性活躍のための意識改革及び社内風土改革を推進することです。この行動計画に基づき女性

社員で組織する「女性会議」を立ち上げました。同会議では、目標実現に向けてさまざまな取り組みを展開しています。

これまで同社の長い歴史のなかでは、女性社員の仕事は男性社員のサポート的役割を担うことという傾向が強かったようで、その固定概念を打破することが難しい状況でしたが、女性会議の発案のもとに意識調査アンケートの実施による課題の洗い出し、女性社員を対象とした研修会やセミナーの開催などを通じて少しずつ意識改革が進んでいるとのことでした。

また、育児や介護を抱える社員の特別休暇は有給で対応するなど、男女問わず働きやすさが望まれており、ここ数年の育児休暇の復帰者は100%となっています。社内での女性活躍に関する取り組みで、女性のためにできることが、男性にとってもより働きやすくなるのが理想とのこと。今後更なる「働きやすい職場づくり」を進めるそうです。お話をいただいた企画総務課課長代理の阪本夏子さんは、「女性の共感する力や細かな所に気づく良い面を生かしたい」とさわやかな笑顔で語ってくださいました。好感の

もてる気遣いとオシャレを忘れない方でした。今後益々の活躍を期待しております。

(T・K、H・G)

ひととひとの
フォーラム足利

2018



第2部講演会
H30.12.8(土) 市民プラザ小ホール

「『全盲の僕が弁護士になった理由』〜あきらめない心の鍛え方〜」と題して、お話をいただきました。講師の大胡田誠さんは、生まれつき強度の弱視で、12才で失明、受験でも下宿探しても差別を実感、幾多の

試練を乗り越え、苦勞の末に9年かけて全盲として司法試験に合格した日本では3人目の弁護士になりました。人は目標を持った時どう行動するか、あきらめない気持ちが大敵だという事を痛感しました。人はいろいろな人と人との繋がり、絆があつてこそ成り立っています。お互いを尊重できる社会になればと思います。(M・T)

*** 編集後記 ***

『ひと』と『ひと』が輝くまち宣言』が決議されたことから、企業を訪問しての現場の声を聞いたり、座談会を開いたりしました。「性別や年齢にかかわらず〜中略〜個性や能力を発揮できるまちをつくる」ためには、男女の意識、雇用する側とされる側の意識が必要だと感じました。男女の働き方や職場の環境も少しずつ変わっていますが、地方都市の中小・零細企業での対応はできるのか、働く男女の意識がついていくのか、懸案事項は目白押し、官民一体となり、みんなが議論してよりよい環境にしていけたらと思います。(M・T)